

内水ハザードマップについて

Q. 内水ハザードマップとは

→ 苧田町で想定される最大の降雨（153mm/h）が町内に一律に降ったと仮定した場合に、地形的に浸水しやすい（水がたまりやすい）場所を示した地図です。

Q. 防災情報マップの浸水想定区域となにが違うのか

→ 防災情報マップに掲載している浸水想定区域は、長峽川および小波瀬川で洪水が発生した場合に浸水する区域を示しています。この内水ハザードマップは、洪水によるものではなく、降った雨が地面にたまった場合の状況を示しています。

Q. 内水はん濫が発生した場合にどうすればよいか

→ 地図面に示した浸水深の目安のとおり、3.0m 未満の区域であれば、2階は浸水しません。周囲がすでに浸水している場合は、2階以上に避難するなどして、周囲がすでに危険な状況で避難所に無理に移動するなどはなるべく避けてください。また、アンダーパスや田畑など浸水深が深くなることが想定されている場所には、近付かないようにしてください。

Q. 20cm 未満の浸水深を掲載していないのはなぜか

→ 20cm 程度の浸水深で、概ね歩道が冠水しはじめる程度とされています。20cm 未満の浸水であれば影響は少ないため、図面の見やすさも考慮して掲載しておりません。

Q. 過去の大雨で冠水した箇所に着色されていないのはなぜか

→ 地形改変等により水の流れが変わった場合や、想定上、20cm 未満の浸水であることなどが考えられます。

Q. 今まで一度も冠水したことがない箇所に着色されているのはなぜか

→ この内水ハザードマップに示す浸水想定区域は、想定される最大の降雨（153mm/h）が町内で一律に降った場合に浸水すると考えられる箇所を示しています。平成 30 年 7 月豪雨の際は、苧田町では 48mm/h の降雨が観測されています。

Q. 区画整理や造成工事等により浸水想定区域が変わるのではないかと

→ この内水ハザードマップは、平成 25 年度頃に測量された最新の地形情報に基づいて浸水解析を実施しています。今後、必要に応じて見直しを実施したいと考えています。